

項目	意見等	市の考え方
<p>1 第3章 利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要 2 地域別の概要 (2)地域別の概要 ウ 沿岸地域</p>	<p>「鹿島区烏崎地区には真野川漁港があり、近海魚の水揚げ基地となっていました。東日本大震災により漁港施設が流失し、また原発事故の影響により魚介類から放射性物質が検出されたことから、現在は操業が自粛され、モニタリングのための試験操業が行われています。」とあるが、『モニタリングのための試験操業』という表現は正しくない。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「鹿島区烏崎地区には真野川漁港があり、近海魚の水揚げ基地となっていました。東日本大震災により漁港施設が流失し、また原発事故の影響により魚介類から放射性物質が検出されたことから、現在は操業が自粛されています。現在は、放射線モニタリングのための調査結果により出荷制限が解除された魚種を対象に、漁業再開に向けた基礎情報を得るため試験操業が行われています。」に修正します。</p>
<p>2 第4章 計画を実現するために必要な措置の概要 3 土地の有効利用の促進 (1)農用地の有効利用</p>	<p>「農用地については、原発事故により土壌が放射性物質で汚染されていることから、除染により放射線量を低減させ、農業生産ができる条件を回復させます。」とあるが、農地除染により土壌の質が低下してしまうため、農地の質を向上させる旨の記述を盛り込むべきであると考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「農用地については、原発事故により土壌が放射性物質で汚染されていることから、除染により放射線量を低減させるとともに、除染による土壌の地力等が減じた分を補うための地力回復策を講じるなど、農業生産ができる条件を回復させます。」に修正します。</p>
<p>3 第4章 計画を実現するために必要な措置の概要 4 災害に強い都市基盤の整備</p>	<p>「災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を図るとともに、市街地などにおける防災拠点施設の整備や、都市公園などのオープンスペースの確保、河川整備の促進と雨水排水整備の推進など、防災機能の向上に努めます。」とあるが、常磐自動車道など南北を結ぶ道路は整備されているが、災害時の避難においては東西を結ぶ道路の整備が重要であると考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「安全性を高めるため、特に東西を連携する新たな道路の整備や既存道路の改良を始めとした災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を図るとともに、市街地などにおける防災拠点施設の整備や、都市公園などのオープンスペースの確保、河川整備の促進と雨水排水整備の推進など、防災機能の向上に努めます。」に修正します。</p>